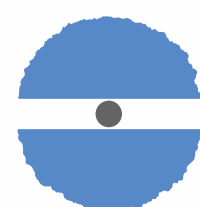


公益財団法人
いわさきちひろ記念事業団
支援会員制度

2023年度 活動報告書



ちひろ



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館(東京・安曇野)

■支援会員の状況 (2023年4月1日～2024年3月31日)

会員数 658人 (新規122名・継続536人)
支援会費 (寄付金) 6,323,837円
*参考データ: 2022年度 5,550,592円
612名 (新規120名・継続492名)

■支援会費の使途

絵本原画の収集・保存・研究・展示公開、絵本の普及、国内外での絵本文化支援の活動等に充当させていただきました。

1. 美術館の設置・運営

2023年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法の位置付けで5類感染症に変更され、ご来館いただいたお客様は、昨年度の1.2倍、コロナ前の7割まで回復しました。

■来館者総数
ちひろ美術館・東京: 35,116人 (前年比 141%)
安曇野ちひろ美術館: 80,188人 (前年比 108%)
合計: 115,304人 (前年比 117%)

2. 展覧会の開催

＜ちひろ美術館・東京での展覧会＞

- 3月18日～6月18日
ちひろ 光の彩 (いろどり)
＜企画展＞没後50年 初山滋展 見果てぬ夢 ①
■6月24日～10月1日
ちひろ 子ども百景
＜企画展＞谷内こうた展 風のゆくえ ②
■10月7日～2024年1月14日
いわさきちひろ やさしさと美しさと
＜企画展＞ちひろ美術館セレクション 2010→2021 日本の絵本展 ⑤



＜安曇野ちひろ美術館での展覧会＞

- 3月1日～5月28日
ちひろの願い 世界中の子どもみんなに 平和と しあわせを
ちひろ美術館コレクション なんて世界は素晴らしいのだろう ④
司修『まちなと』原画展
■6月3日～9月3日
1950-1970年代の絵本 絵本画家いわさきちひろ
ちひろ美術館コレクション 熱帯の国々の絵本
＜企画展＞ちひろ美術館セレクション 2010→2021 日本の絵本展 ⑤
■9月9日～11月30日
いわさきちひろと師・中谷 泰 ④
ちひろ美術館コレクション 冒険する子どもたち
＜企画展＞ 没後50年 初山滋展 見果てぬ夢



＜他館と提携する展覧会＞

- 4月15日～7月17日
黒姫童話館&童話の森ギャラリー (長野県信濃町)
ちひろ山荘ものがたり
～画家 いわさきちひろと建築家 奥村まこと
いわさきちひろ ピエゾグラフィ展
■4月29日～6月11日 仙台文学館 (宮城県仙台市) ①
■7月22日～9月3日 西田美術館 (富山県上市町)
■10月4日～10月15日
八十二文化財団・ギャラリー 82 (長野県長野市) ③
■①3月17日～6月5日 ④ ②6月16日～9月4日 ⑩
■③9月16日～11月27日 ⑪ ④12月8日～2024年3月4日 ⑫
越前市武生「ちひろの生まれた家」記念館 (福井県越前市)



■寄付者一覧 2023年4月1日～2024年3月31日に寄付くださった方々から、これまでに前名の公表をご許可いただいているみなさまをご紹介します (敬称略・五十音順)。

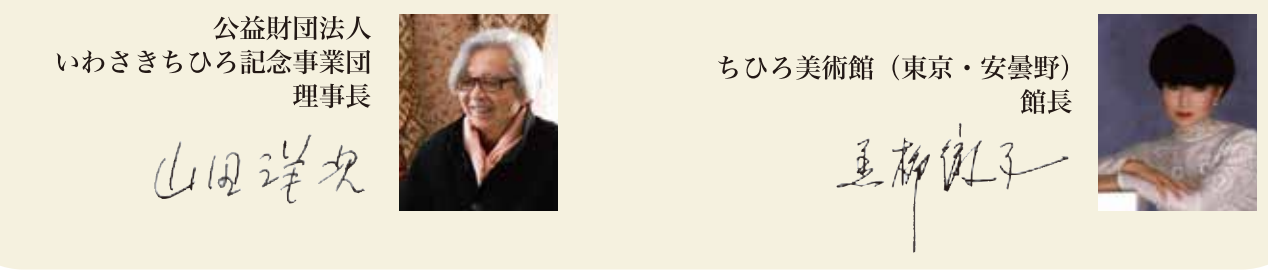
相澤裕子 青江純子 青木久男 赤枝操 赤羽大四郎 秋吉順子 足立委子 阿部圭子 阿部敏見 天野和義 雨瀬涼子 新井ナオミ 新屋康夫 安藤清貴 安藤優子 池田昌巳 石井鈴子 石井達也 石川寛治 石川順法 石津ちひろ 石原民子 石原敏子 板倉明子 板倉裕史 井田登史子 井上節子 伊藤昭彦 伊藤幸子 伊藤美智子 伊藤利香 井戸田素子 桶田透彦 井上雅貴 井之浦一子 今泉孝敏 今村智宏 岩田和恵 上坂朋子 植田浩二 上田敏夫 上野謙治 上野のり子 上森謙世 牛越敬 宇田房子 内田市五郎 内田伸二 内田芳子 鶴濱由基子 榎本裕一 遠藤康夫 大賀泰三 大木義子 大熊麻希 大崎あけみ 大島和枝 大田高輝 大谷真知子 大橋愛子 岡田早智子 岡田正義 岡本育子 奥村俊博 小澤通子 小田悦子 小野陽一 海澤幸代 垣東美影 影久友子 笠井康弘 相いつ 櫻田吹 片倉敬彦 嘉戸秀美 加藤信子 加藤麻希 加藤裕美子 金子治代 金子真理子 鎌谷雄樹 上村真澄 河合文子 川田和子 河田西 川人博 川俣浩之 菊地綾子 菊地勝幸 菊池恵思 菊地淳一 菊地明好 菊池秀幸 北村葉子 北村高枝 喜多村智代 北村明也 木村いつみ 木村靖子 金城幸子 工藤英子 倉科泰一 栗林和永 栗原真知子 末柄美和子 末岡誠司 黒岩淑子 小池昭子 小出節子 高野恵美子 河野裕子 河野のり子 木暮正行 越川恵美子 小平恵子 小中村政一 紅谷美穂 小林亮子 小林ちひろ 小松弘子 近藤京子 齊藤雄治 佐伯智子 佐伯のり子 酒井裕子 境美英 坂口隆男 坂口佳美 相模一男 菊ととも 櫻井理恵 櫻井隆 佐古恵子 佐々木克典 小林律子 佐多和子 佐藤和弘 佐藤忠仁 佐藤博子 佐藤孝子 佐藤龍一 里野茂子 里見裕子 澤太郎 澤良世 椎本郁子 四十万裕子 渡谷まゆみ 清水信江 志村立矢 下島さきこ 下野戸 equal 白石ふき 新屋康夫 陣野登子 菅原睦美 杉田尚子 鈴木恵一 鈴木武 鈴木真寿子 鈴木誠 鈴木美弥子 砂川美江 住吉廣行 関川友美 芹沢智 千田幹雄 曾我克美 十亀有紀 祖父江哲一 田井井隆彦 高木朝子 高橋あつさ 高野恵美子 高橋節子 高橋良明 高橋俊文 高橋博之 高橋英子 高山和子 瀧口恵子 滝澤智樹 瀧下弘美 田口弘美 武井一二三 武川雅和 武田登志子 武田正巳 竹田洋子 田澤誠 田島真代子 太刀川久夫 立松房枝 田中美恵子 田中恵 福村初江 福山正子 田畑裕子 田丸尚美 田村恵子 田村博康 丹野由美子 近松美喜子 土田忠敬 坪井明子 坪井一恵 坪井隆子 手塚公久 寺本英子 といしげ 榎本孝夫 島羽敬二 富田雅子 豊仲明子 島山裕 中大路耕平 中山愛 中山麻 中沢まみ 中島香矢 中島啓幸 永島寛江 中谷至孝 中川幸子 中野浩夫 中野和明 中谷澄子 中野和則 中村紀寿 中村紀寿 中村高子 中村高子 那須野節子 西尾泰広 西尾裕子 西野政義 西野誠 西村修 西尾泰生 仁藤徳彦 野崎五郎 野村美美 野村朋子 橋本孝子 長谷川淳子 山田隆司 花城紀彦 早瀬紀子 原田孝子 原田聖子 樋口隆子 妻岡由子 平山玲美 平山隆子 平山典秀 福林孝子 藤井則子 藤代誠一 藤本正 藤本純子 札幌義浩 瀧脇文雄 古川正巳 星祐樹 星加敏子 澤山裕子 本多慶子 本間久幸 前川和明 前田直美 益子良一 額下弘三 益川洋子 藤本正 藤本純子 松田和子 松本恭子 松本謙二 松本孝 松本ちひろ 松本文子 松本祐子 丸山 水野孝治 三宅恵子 宮澤孝昇 宮澤大介 宮下和也 宮本宜孝 宮脇節子 ミラー 美奈町司 村上耕平 村上謙 村上謙 村上弘治 村松敏夫 森茂行 森江さつき 森島仁 森本 久田美江 柳沢清美 柳下昭夫 山口智徳 山口文枝 山口恵 山口典秀 山口喜代子 山口剛 山崎紀代 山下和子 山下直彦 山田哲也 山田久夫 山田弘子 山田寿美代 山本朋子 山本たまき 湯澤順 横川浩子 吉江眞理子 吉岡正俊 吉岡達也 吉川聡子 吉田勝彦 米山美保 藤田純子 若岡佐知子 若山秀樹 和氣美樹 渡辺智子 渡辺孝恵 渡辺繁美 渡辺友範 渡辺浩子

この一年間、公益財団法人いわさきちひろ記念事業団、ちひろ美術館の支援会員として、私たちの活動を支えてくださり、ありがとうございました。

支援会員のみなさまへごあいさつ

いつも、ちひろ美術館をご支援くださり、ありがとうございます。
おかげさまで、2023年度は、2年間延期となっていた企画展「ちひろ美術館セレクション 2010→2021 日本の絵本展」を両館で開催、ちひろ美術館の視点で選んだ2010年以降の日本の絵本の動向を紹介することができました。また、「没後50年 初山滋展 見果てぬ夢」「谷内こうた 風のゆくえ」など、年間を通して充実した内容の企画展を開催しました。普及活動では、文化や芸術の場を利用しづらい方たちも参加できる環境を整えることを目標に、館として学びを深めるとともに、障害のある方を対象にした鑑賞会や、認知症の方とご家族がいっしょに楽しめる鑑賞プログラム、手話通訳付きのギャラリートークなど複数のプログラムを行いました。いずれの活動にも遠方から参加して下さる方があり、こうした機会がさまざまに求められていることを感じています。

いま、新型コロナウイルスのパンデミックの影響は小さくなりましたが、世界各地での紛争・戦争は、終わりが見えず、特に子どもをめぐる状況の深刻さは増すばかりで、日々心が痛みます。今年(2024年)は、いわさきちひろが亡くなって50年。ちひろさんが遺した「世界中の子どもみんなに 平和と しあわせを」という思いを、すばらしい絵本の作品とともに、より多くの方に伝えていくことは、私たち財団、美術館の役割だと考え、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。ひきつづき、ちひろ美術館へのご支援を、よろしくお願いいたします。



■7月15日～8月22日
豊岡市立日本・モンゴル民族博物館 (兵庫県豊岡市)
ピエゾグラフィによる
赤羽末吉「スーホの白馬」展
■9月9日～11月7日
北海道立文学館 (北海道札幌市) ⑧
特別展
『スーホの白い馬』の画家 赤羽末吉 ⑧



■9月30日～11月26日
須坂版画美術館・平塚運一版画美術館 (長野県須坂市)
没後50年 初山滋版画展 初山イズム
■2024年1月20日～1月30日
高崎シティギャラリー (群馬県高崎市)
高崎絵本フェスティバル 第30回絵本原画展 やっぱり福音館
■1月20日～3月3日
蔵野市立吉祥寺美術館 (東京都武蔵野市)
出久根育展 チェコからの風 静寂のあと、光のあき

3. 作品・資料の収集、保存、並びに、調査、研究

2023年は、いわさきちひろの作品14点 (寄贈と返却)、遺品14点 (寄贈と寄託)、中谷泰の作品5点 (寄託) と関連資料8点 (寄贈)、初山滋の作品と資料あわせて100余点 (寄託)、ピーター・シスのグリーティングカード1点 (寄贈) を新規に収集しました。

・いわさきちひろ 9,654点
・世界の絵本画家 世界35の国と地域 227人のアーティスト 18,323点
合計27,977点 (2024年3月31日現在。寄託作品含む)



4. 教育活動

- 3月26日 「初山滋展」関連
講演会「初山滋の魅力」(オンライン)
4月16日 「ちひろの願い 世界中の子どもみんなに 平和と しあわせを」関連
ユニセフ出前授業「ユニセフと世界のともだち」(安曇野館) ⑩
5月20日 ちひろの絵による「窓ぎわのトットちゃん」ワークショップ
青空トモエ学園「田んぼの教室」(安曇野ちひろ公園) ⑩
7月9日 「谷内こうた展」関連
講演会「ボンジュールこうたさん! -父と絵本の旅-」(東京館・オンライン) ⑩
7月29日、7月30日
「2010→2021 日本の絵本展」関連
絵本画家 はたこうしろうによるアーティストトークとワークショップ「世界にひとつの絵本をつくらう」(松川村図書館との共催 松川村・すずの音ホール) ⑪

9月10日 「谷内こうた展」関連
鼎談「編集者が語る 谷内こうたと絵本の魅力」(東京館・オンライン)

10月8日 「2010→2021 日本の絵本展」関連
対談 村上康成・はたこうしろう
「いま、絵本でつたえたいこと」(練馬区立石神井図書館、他との共催)

10月27日 アートリップ
(認知症の方に向けた対話型アート鑑賞プログラム) (東京館)

11月27日 障がいのある方のための鑑賞会 (東京館) ⑩

12月16日 手話通訳つきギャラリートーク (東京館)

2024年 韓国の絵本画家 スージー・リー講演会
3月18日 「物語はあなたにあり」(松川村図書館との共催 松川村・すずの音ホール) ⑫



5. 普及活動

絵本の読み聞かせなどを行うおはなしの会を、安全に配慮しながら、対面で行うことができました。



ちひろの平和のパネル展

7月29日～8月13日 なごみの米屋スカイタウンギャラリー (千葉県成田市)

8月3日～8月4日 高槻市立生涯学習センター (大阪府高槻市)

11月10日～11月13日 高槻市立日吉台公民館 (大阪府高槻市)

6. 国際交流

■2024年2月2日～26日
ピエゾグラフィ展 "Ehon: Jelajah Cerita dan Seni Buku Anak Jepang (Friends of the World Ehon: Exploration of Story and Art of Japanese Children Books)" を開催し、ちひろ美術館コレクションのなかから日本の絵本画家といわさきちひろの作品 (絵本12冊より30点) を紹介するとともに、水彩技法体験ワークショップ、日本語・インドネシア語2言語での絵本の読み聞かせ、ギャラリートーク、絵本を題材とするお話パフォーマンスなどを行いました。(共催: 国際交流基金、Cita Cerita Anak財団)

7. 支援活動

「ちひろ美術館のあゆみ」動画に、新たに手話通訳を入れて編集しなおし、オンライン及び館内で放映しました。



8. その他

■2023年度刊行の書籍

『初山滋 見果てぬ夢』
初山滋著・ちひろ美術館監修
平凡社



童画の黄金期に活躍した初山滋の人生と代表作の数々、初公開の資料などを収録しました。

■アニバーサリーギフト

■8月8日～9月8日

ちひろ忌から1か月間、「一子どものしあわせと平和をともに考える」病院で過ごす子どもたちが、絵本や美術をより楽しめるよう、活動をご支援ください!と題し、アニバーサリーギフト (寄付) を呼びかけました。寄せられたご寄付を、病院内で展示するための複製画印刷、額の新規購入などに充てることができました。



■平和への願い

ウクライナでの戦争が長期化するなか、「ちひろの願い 世界中の子どもみんなに 平和と しあわせを」、「ちひろ美術館コレクション なんて世界は素晴らしいのだろう」と題した展示を安曇野館で開催しました。会期中、来館者がにじみの紙にメッセージを書いて飾るワークショップ「想いをつなぐにじみのガーランド」を行いました。また、東京と安曇野両館でちひろがウクライナのキウを訪れた際に描いたスケッチの原画を、一年を通して展示しました。



■2023年支援会員の日

10月22日、支援会員制度の報告会を、東京館、安曇野館、そしてオンライン参加者をインターネットでつなぎ、ハイブリッドで開催しました。2022年度の活動報告、絵本画家の松本春野氏 (写真) によるトークの他、ちひろクイズなど、オンラインで参加のみなさまと会場をつないで交流しました。

■公益財団法人いわさきちひろ記念事業団は、次のような目的をもって活動しています。

子どものしあわせと平和を願いつづけた絵本画家いわさきちひろの業績を記念し、文化の民主的発展に寄与する活動をおこなう。
散逸しやすい絵本の原画を人類の文化遺産と位置づけ、絵本芸術等に関する資料を収集・保管・展示して教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業をおこなう。
「公益財団法人いわさきちひろ記念事業団定款」より抜粋

■支援会員の輪を広げてください。

ちひろ美術館の支援会員制度について、ぜひお知り合いにご紹介ください。詳しいご案内やチラシをご希望の方は、希望部数と送付先 (お名前、ご住所、お電話番号) をお知らせください。

申し込み先:
ちひろ美術館・東京 支援会員制度担当
〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2
TEL: (03)3995-0612 FAX: (03)3995-0680
E-MAIL: shienkai@chihiro.jp
「支援会員制度」はクレジット決済による入会が可能です。
https://chihiro.jp/foundation/donation/
※クレジット決済は外部サイト Syncable に移行します。



支援会員のみなさまからのメッセージ

ご支援に際して届いたたくさんのメッセージから、一部をご紹介します。

未来のおとも子どもも、平和で安心して過ごせる世界でありますように、いわさきちひろの絵をひとりでも多くの方に見てもらえるように、貴団体の活動を応援しております。

毎日観るちひろさんの絵に癒やされ、そして平和への願いを新たにしています。美術館のすばらしい環境と活動がいつでも続きますように。

お知らせが届きましたら、開くのが毎回楽しみです。

絵本には子どものころの両親とのさまざまな思い出があり、今でも大好きな本がたくさんあります。この文化が大切に受け継がれていけるよう活動されている方々を敬慕しております。

小学生のころ先生から毎年来る年賀状がちひろさんの絵でした。それからずっとファンです。北海道在住にて美術館に行ったことは無いのですが、行ける日を楽しみにしています! 応援しています。

ちひろさんの素敵な絵が、ずっとずっといい状態で残りますように。ちひろ美術館が大好きです。